

## 平成26年度千葉市NPO活動大賞エントリーシート

提出日 平成26年10月22日

エントリー番号	02	※エントリー番号欄には何も記載しないでください
1 エントリーする活動名	生ごみ処理相談	
2 法人名	特定非営利活動法人 環境ネット	
3 代表者氏名	柳 澤 吉 則	
4 主たる事務所の所在地	千葉市中央区富士見2-22-6 富士ビル5階	
5 法人の連絡先	043-432-9181 (深瀬：事務局長)	
6 活動の目的	千葉市は可燃ごみ1/3削減を目指す中、可燃ごみに占める生ごみが最も多く、その削減は、個人・家庭の努力に頼らざるを得ない。家庭での生ごみ処理は様々な理由で失敗・断念する人が多い。経験豊富な会員が定期的に相談に乗ることとした。	
7 活動の概要	<p>① 千葉市民活動支援センターの一角を借りて毎月第一木曜日の午後に相談窓口を開設した。(関 美恵子 会員)</p> <p>② 毎月第四日曜日に、千葉銀座通りのフリーマーケットの中の千葉市民活動支援センターのブースの一角に相談窓口を開設した。(関 美恵子 会員)</p> <p>当初はチラシの配布のみにしていたが、8月から実演も加味して集客力が増した。</p>	
8 工夫した点	<p>① 生ごみ処理相談のチラシを千葉市民活動支援センターに常備するほか、環境ネットの主催イベント・講座で配布。</p> <p>② 牛乳パックを利用した生ごみ処理方法の実演をした。比較的簡便で、出来た堆肥の利用法も説明。関心を持つ人が増えた。</p> <p>③ たまたま千葉市が26年2月から処理手数料徴収制度を開始したため、生ごみ処理への市民の関心が高まった。</p>	
9 今後の活動の展望	この活動は、数年前から開始したが、当初の来客は少なかった。あきらめずに継続してきたことと、来客増への工夫と、千葉市の処理手数料徴収制度が始まって、生ごみ処理に対する市民の関心が高まっている。生ごみの処理方法は様々あって一長一短がある。悩み相談は、生ごみ処理継続の手助け。継続する。	
10 法人からのPR	可燃ごみの4割超を占める生ごみの削減は、発生源で処理するのが重要。処理物の利用までセットでやらないと継続できない。経験者の丁寧な指導が不可欠と考える。当法人の活動ばかりでなく様々な活動が活発化することを望んでいる。	

※このエントリーシートは、A4用紙片面1枚で提出してください

※このエントリーシートとは別に、A4用紙片面1枚以内で写真・チラシ等を添付することができます

※このエントリーシートは、市民投票等の際に、公開します(添付した写真・チラシ等も含む)